



国際シンポジウム チャイルド・デス・レビュー

Child Death Review

2019年2月2日(土) / 2月3日(日)

会場 || 東海大学 高輪キャンパス 2号館 東京都港区高輪2-3-23

シンポジウム概要

チャイルド・デス・レビュー(CDR)とは、子どもが死亡した際にそのことを全数把握し、予防しえた可能性があったか否かという観点から検証を行い、将来的な同様の死亡を可能な限り減らしていくためのシステムです。

当研究班では、日本小児科学会子どもの死亡登録・検証委員会と連携して、拡大パイロットスタディーを行うとともに、本邦でCDRをどのようにして社会実装していくのかにつき、様々な議論を行ってきました。

本シンポジウムでは、1日目にこれまでの研究成果と我が国のCDRの現状を発表するとともに、我が国に先立ち既にCDRを国家的に社会実装している米国・英国、そして今まさに日本と同様に社会実装を積極的に検討している台湾からシンポジストを招聘し、本邦がどのようにCDRの社会実装を行うべきであるか、議論を行います。

また翌日には、海外のシンポジストをファシリテーターとして、模擬事例を用いて実際に検証作業を体験していただきます。

本シンポジウムに参加した皆様が、地域に知見を持ち帰り、具体的実践を進めていくことが、本邦においてCDRを社会実装する上での最も近道と考えています。

皆様の参加をお待ちしています。

海外講師



テレサ・コビンソン

Theresa (Teri) Martha Covington
公衆衛生学博士。ミシガン州のthe National Center for Fatality Review and Prevention (CDRのナショナルセンター)のディレクターに15年従事し、アメリカ国内および国外のCDRトレーニングを行ってきた。



ジョアンナ・ガースタング

Joanna Garstang
小児科医。NHS及びWarwick大学に所属し、the Birmingham Child Death Overview Panelのメンバー。SIDS/SUIDの専門家であり、CDRの指導的立場として尽力。SIDS/SUIDで子どもを亡くした遺族団体であるthe Lullaby Trustとも緊密な連携を行っている。



呂宗學

Tsung-Hsueh (Robert) Lu
公衆衛生学博士。台湾のNational Cheng Kung University (國立成功大學)の公衆衛生学教室教授。台湾におけるCDRの社会実装の中心的役割を果たしている。

命に学び、命を守る

参加申込など詳細は裏面をご覧ください

シンポジウム事務局 || 前橋赤十字病院 医局診療秘書室

Tel.027-265-3333(代) Fax.027-225-5250

e-mail || shinryo-hisyo@maebashi.jrc.or.jp HP || <https://www.child-death-review.jp/symposium.html>

後援 || 日本小児科学会 / 群馬県医師会 / 日本医師会(予定) 協力 || 一般社団法人 リヴオン / 前橋赤十字病院 / 東海大学

CDR 研究班

検索



国際シンポジウム チャイルド・デス・レビュー 《命に学び、命を守る》

For all children,
Let's face a child's tear.



Schedule

2月2日 第1日 || 逐語通訳あり

- 9:30-10:00 主催者挨拶 || 溝口史剛
《子どもを亡くした遺族からのビデオメッセージ》
来賓挨拶 || 自見はなこ 参議院議員/小児科医
- 10:00-11:00 基調講演 1 || 座長: 仙田昌義
「米国の40年のCDRの歴史から」 || テレサ・コビントン
- 11:00-11:30 講演 1 || 座長: 神菌淳司
「日本のCDRの取り組みの現状について」 || 沼口 敦
- 11:30-12:15 講演 2 || 座長: 内山健太郎
「台湾におけるCDRの現状と課題」 || 呂宗學(ロバート・ルー)
- 13:15-14:15 基調講演 2 || 座長: 岩瀬博太郎
「英国のCDR施策の現状」 || ジョアンナ・ガースタング
- 14:30-16:00 パネルディスカッション「諸外国のCDRから学ぶ・本邦に活かす」
|| 座長: 溝口史剛/岡田邦之 || パネリスト: 各講演者/尾角光美/山岡結衣
- 16:00- 終わりの言葉 || 山中龍宏

2月3日 第2日 || 同時通訳あり

- 9:20 - 9:30 挨拶・進め方説明 || 山岡結衣
- 9:30-10:15 模擬症例 1 || ファシリテーター: ジョアンナ・ガースタング
- 10:15-10:30 ケース 1 振り返り、Q&A
- 10:30-11:15 模擬症例 2 || ファシリテーター: テレサ・コビントン
- 11:15-11:30 ケース 2 振り返り、Q&A
- 11:30-11:50 全体の質疑応答 || 小保内俊雅
- 11:50-12:00 まとめの言葉 || 柳川敏彦

参加費 || 事前申込制 [申込締切: 1月25日(金)]

- * 第1日のみ || 医師 4,000円 / 医師以外(非医療者含む) 2,500円
- * 2日間セット || 医師 7,000円 / 医師以外(非医療者含む) 4,000円

注1) 2日目のみの参加は原則受け付けておりません。

注2) 1日目のみ当日参加を受け付けますが、その場合、医師 5,000円 / 医師以外(非医療者含む) 3,000円と割高となります。

参加申込方法

Child-Death-Review: 公式サイト内「シンポジウム・問合せ先」(<https://www.child-death-review.jp/symposium.html>)よりお申込み下さい。
PCでのアクセスは、検索(CDR 研究班) > <https://www.child-death-review.jp>、携帯・スマホでは、右欄のQRコードが便利です。



会場ご案内

